



2021年4月8日

各 位

会 社 名 **株式会社インテリックス**
代表者名 代表取締役社長 俊成 誠司
(コード8940 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 鶴田 豊彦
TEL 03-5766-7639

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、2021年1月14日公表の「2021年5月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて未定としておりました、2021年5月期通期の業績予想及び配当予想を、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年5月期 通期の連結業績予想数値（2020年6月1日～2021年5月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 — —
今回修正予想 (B)	40,187	2,073	1,806	1,146	134.12
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年5月期)	37,863	1,108	757	522	60.82

(2) 業績予想の理由

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、適正かつ合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定しましたので公表いたします。

中古マンション再生流通事業（リノヴェックスマンション事業）において、販売がコロナ禍においても根強い需要に支えられ堅調に推移し、当第3四半期までの販売件数は前年同期に比べて132件増の1,058件（前年同期比14.3%増）となりました。当第4四半期の販売が在庫減の影響を受けるものの、通期では前期に比べ3.7%増の1,386件を見込んでおります。

また、その他不動産事業においては、新型コロナウイルスの影響により、リノベーション内装事業の受注減や、ホテル等の宿泊事業の稼働率が低い状況で長く推移していることが、収益を押し下げる要因となりましたが、当第3四半期までは、リースバック物件を対象とした不動産信託受益権の譲渡や、不動産小口化商品「アセットシェアリング三軒茶屋」が完売となり収益に寄与しました。

さらに当第4四半期において、東京都港区六本木の物件（3月売却済み）等その他不動産の売却により、通期での利益を大きく押し上げる見通しとなりました。

これらを踏まえ、2021年5月期通期の連結業績予想といたしましては、売上高は前期に比べ6.1%増の401億87百万円を見込み、また、営業利益は前期比87.0%増の20億73百万円、経常利益は前期比138.5%増の18億6百万円、及び親会社に帰属する当期純利益は前期比119.7%増の11億46百万円を見込んでおります。

2. 配当予想の修正について

(1) 2021年5月期 配当予想

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	年間合計
前 回 予 想	—	—	—
今 回 予 想		24.00	35.00
当 期 実 績	11.00		
(ご参考) 前 期 実 績 (2020年5月期)	11.00	11.00	22.00

(2) 配当予想の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、将来の事業拡大のための財務体質の強化と内部留保の充実を図りつつ、積極的に株主に対する利益還元を行う業績連動型配当政策を導入しております。

2021年5月期期末の配当の予想につきましては、上記の配当方針及び今般の業績予想を踏まえ、1株当たり24円といたします。これにより、当期の年間配当予想は1株当たり35円となり、配当性向は26.1%を見込んでおります。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上